

# 2018年度環境経営学会研究報告大会/第18回定期総会プログラム

## 「気候変動リスクとビジネスオポチュニティ」

会場：跡見学園女子大学文京キャンパス

5月26日（土）

【第18回定期総会】・【一般公開シンポジウム】  
12:30～15:00

【シンポジウム】  
15:10～17:10

【懇親会】  
17:20～

第1会場	受付 12:00 ～ 12:30	<p>【第18回定期総会】 12:30～12:55 会長・事務局長・監事・環境経営学会会員</p> <p>【一般公開シンポジウム】（入場無料） テーマ：「気候変動リスクとビジネスオポチュニティ」 司会：花田眞理子 &lt;挨拶&gt; 13:00～13:25 挨拶：会長 後藤敏彦 挨拶：実行委員長 宮崎正浩 &lt;特別顧問挨拶&gt; 13:10～13:25（15分） 山本良一 &lt;基調講演①&gt; 13:25～14:05（40分） 大林ミカ氏 公益財団法人 自然エネルギー財団事業局長 &lt;基調講演②&gt; 14:05～14:45（40分） 石田 建一氏 積水ハウス株式会社 常務執行役員環境推進部長 兼温暖化防止研究所長 &lt;討論&gt; 14:45～15:00（15分） コーディネーター 後藤敏彦 環境経営学会会長</p>	<p>サプライチェーンマネジメント研究委員会 「新たな時代の戦略的サプライチェーン管理のあり方～SDGsおよび企業戦略の視点から」 チェア：岡本享二 発表者：宮崎正浩、九里徳泰、氏家啓一、粉井まり</p>	（会場）
第2会場			<p>経営診断推進委員会 「経営リスクへの対処からビジネス機会の創出へ」 チェア：鈴木道彦 発表者：衣川益弘、木俣信行、中村晴永</p>	跡見学園女子大学 学生食堂 （1号館1階） （終了19時頃）

5月27日（日）

【事例報告・萌芽研究報告・個別研究報告】（発表15分、質疑15分）  
9:30～12:30（第1会場と第2会場は10:00～12:30）

【シンポジウム】

14:10～15:40

15:50～17:20

【表彰式】

17:30～17:50

発表者	ID	発表タイトル	討論者			発表者	発表タイトル	討論者
第1会場 事例・萌芽 個別研究 セッション (座長 村井)	王 博 ※1	H1	マテリアルフローコスト会計（MFCA）の継続的適用を促進する対策における考察	村井 秀樹	昼食 12:30 ～ 13:20	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐 飯野 暁氏 13:20 ～ 14:00	気候変動適応に関する研究委員会	「どうすれば気候変動適応の必要性への認識を高めることができるか？」 チェア：前川 統一郎 発表者：前川統一郎、川村雅彦、伊藤由宣、坂本大、巢山廣美、田代邦幸
	久慈 淳一郎 ※2	H-2	日本企業の環境負荷軽減に対する意識の実態分析、及び環境負荷に関連する用語の経年変化の考察に向けた先行研究レビュー	衣川 益弘				
	千賀 喜史 ※2	H-3	ESG関連Key Performance Indicatorのマネジメント・コントロールからの考察	田代 邦幸				
	小田 利広	K-1	中国中小プラスチック企業の環境経営から見たプラスチック産業都市	鈴木 道彦				
	山本 恵嗣	J-1	障がい者就労支援事業の展開による持続可能な社会形成への役立ち	中村 晴永				
第2会場 個別研究 セッション (座長 宮崎)	小針 秀夫 ※2	K-2	インテリアデザインによる認知症対策とその効果	長谷川 直哉				
	坂下 直史 ※2	K-3	イスラム圏企業のCSR：トルコ上場企業を中心に	竹原 正篤				
	長谷川 浩司 ※2	K-4	持続可能な社会を創造する企業におけるESGと企業価値向上の関係～ROE経営の本質を踏まえたESGによる企業価値向上への経路～	宮崎 正浩				
	片山 郁夫 ※2	K-5	戦後の自動車保険に見るアウトサイド・インの価値創造戦略	後藤 敏彦				
	羅 先坪 ※1	K-6	家電リサイクルビジネスにおける企業間比較	長谷川 直哉				
第3会場 個別研究 セッション (座長 川村)	前川 統一郎	K-7	公開資料に見られる日本企業の気候変動の影響への取組実態	川村 雅彦				
	鶴田 佳史	K-8	経営戦略要因としての気候変動適応	井上 尚之				
	伊藤 由宣	K-9	TCFDモデルによる気候変動適応取り組み企業のパフォーマンス傾向分析	前川 統一郎				
	花田 眞理子	K-10	地域経済循環とコミュニティ・ビジネス～米国イサカでの調査より～	伊藤 由宣				
	井上 尚之	K-11	芦屋市廃棄物運搬用真空輸送システム廃止問題は如何にして完全解決したか	鶴田 佳史				
川村 雅彦	K-12	『SDGsウォッシュ』と言われないために ～「SDGsの実装化」に向かう日本企業のグッド・プラクティス～	花田 眞理子					

表彰対象者：※1:35歳以下、※2:社会人院生 ID：J:事例報告、H:萌芽研究報告、K:個別研究報告 ○は審査委員（2～3名）